

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

＜営業推進部＞

広島市より新型コロナウイルス感染拡大防止対策の措置として、8/3（火）～9/12（日）の間は中小企業会館（展示館、会議室、研修室）で臨時休館、留学生会館・西部埋立第5公園（運動施設）で利用時間短縮の要請を受けています。今年度に入り2回目の措置で、利用される方々への連絡等の対応はトラブル無く遂行出来ましたが、3回目の措置が回避できることを願うばかりです。

この期間中にアンケート結果の確認・分析やコロナ禍での実績作り、新たな自主事業の開発等に尽力し次期契約の獲得に向け準備を整えていきます。

＜広島市留学生会館＞（国際交流・国際協力の拠点）

当館はコロナ対策で、上記期間中は通常午後9時までの開館時間が変更となり、現在午後8時までで閉館しています。今まで通りマスクの着用、手指消毒の感染防止対策を講じると共に、飲食を伴う会場では換気状況を確認するために、二酸化炭素濃度測定も行うことになりました。こうした制限があることを、利用者、居住者に周知し、安全に使用できるように努めています。尚、9月26日(日)に居住者を対象とした「日本文化探訪ツアー」を計画していますが、感染状況により会館内で「広島県産品展」開催に変更することも検討しています。秋には感染状況が収束に向かい、11月に「留学生会館まつり」が、開催できることを願って止みません。

＜広島市中小企業会館＞

令和3年度も中盤に差し掛かり、当館の7月の売上はこれまでの7月と比較して最高額を記録しましたが、コロナ禍による8/3からの臨時休館が非常に残念です。今期2度目の休館で、今後厳しくなる状況も予測されていますが、コロナに負けることなく常にベストな会館運営を目指すと共に、早期の終息を願っています。

当館は建築後40年経過し施設等の劣化が目立ってきていますが、展示館の壁面さび汚れの除去・塗装や床面光沢復元などに挑戦しています。コロナ禍の中開催された東京オリンピックでは、金メダル27個、メダル獲得総数58個は共に過去最高となり大きく飛躍しました。私たちも「挑戦と飛躍」を念頭に取り組んでいきます。



＜施工前＞



＜施工後＞

＜セキュリティ事業部＞

先日、当社の施設警備員が、ベンチで寝込んでいる通行人に声掛けしたところ、突然起き上がって殴り掛かれるという事案が発生しましたが、警備員が叱咤に間合いを取ったためケガなく事は収まりました。警備員は声をかける相手が武器を持っている可能性等も考慮し『昼間は3歩、夜間や暗がりでは6歩の間合い』を心掛け、受傷事故防止に努めてください。

＜クレンリネス事業部＞

令和元年から実施している「アイコス検定」を今年も実施します。「医療施設における環境感染制御マニュアル第2版」から出題し、医療関連施設で勤務する上での基礎的な知識を身につけて頂くことを目的にしています。これまで3級資格者19名（うちSC事業部4名、FM事業部1名）、2級資格者8名、1級資格者12名（うちSC事業部1名）の資格者がおられ、CLだけではなくSC、FMの方も合格されています。9/29（水）17:30～19:00、本社3Fで「アイコス検定2・3級」試験を行います。三択式で100問出題されます。70点以上が3級合格、80点以上が2級合格となります。部門を問いませんので、参加ご希望の方は、CL事業部までご連絡下さい。

<東京支店>

体温を超えるような暑さが続いている緊急事態宣言下、感染者急拡大の東京です。**万一感染すれば本人家族含めて大変な事態となることは言うまでもありません。** リスクの高い行動は避け、今一度慎重な感染対策に努めてください。

話は変わりますが、先日社員で財布を紛失した方がいました。そういう経験のある方は結構多いのではないのでしょうか。財布をズボンのお尻のポケットに無造作に突っ込んである若い方を見かけることも多いです。皆さん現金の他にカード・証明書等いろんなものを入れていると思います。最近はハイテクの紛失防止タグなんかもあるようですが、財布・定期入れ・携帯電話等にも脱落防止ストラップとか着けたら如何でしょう。特に若い人にとって、亡くして一番ショックが大きいのは情報いっばいのスマホだとも言われます。**コロナも財布もスマホも、用心用心慎重慎重、泣きを見る前に転ばぬ先の杖を考えましょう。**



<FM事業部>

全国的に新型コロナウイルスが猛威を振るう中、マスク着用・3密回避・手指消毒等の基本予防はもちろんのこと、施設内の感染対策としては換気運転が最重要となり、換気量（給気量や排気量）の不足が、クラスター感染を引き起こす可能性が十分考えられます。換気量が設計時に比べ減少する要因として、設備の老朽化や省エネ・省コスト等のための換気量調整が挙げられます。まずは換気量の測定を行い、適切に機能しているかを確認し、**適切な換気量が確保できていない場合は、フィルター等の清掃や老朽化した換気設備の補修等を行うことにより、換気状況の改善が図れるよう検討して下さい。** なお改善を行うまでの対策として、窓開け等により換気を行うことも大切です。



<安全衛生委員会>

この度の事故報告にも記載していますが、共用トイレ内でムカデに刺される労働災害が発生しました。また、6月にはごみの分別中、針刺し事故が病院外の事業所でも発生しています。針刺し事故や切創事故を防ぐため「**ごみなどを素手で触らない**」「**ごみ袋を抱えない**」「**ごみ袋を押さえない**」などの対策が必要となります。ほうきやちり取り（場合によっては火ばさみやトングなど）を使用し、適切に処理して下さい。**昆虫や爬虫類の中には毒を持っているものもいますので、決して不用意に素手で触らないようにして下さい。ご安全に！！**

<磨種（とぎぐさ）>

立秋は8月7日に過ぎ、磨種がお手元に届くころは処暑を過ぎています。非常事態宣言下、8月は猛暑に始まり、台風9号10号が日本を通過した後のお盆以降は、平成30年7月の西日本豪雨以上の大雨前線が居座り、西日本のみならず全国各地に河川氾濫や土砂災害など発生しています。

2019年12月に武漢で発生したとされる新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界各都市における2021年の医療状況は様々ですが、日本においてはエッセンシャルワーカーという呼び名が与えられ、我々はヘルスワーカーの下支えとして、現場では笑顔を忘れず・どんな小さな事でも正常ではない状態の物を格して知に到るよう・5SとABCをコツコツと実践しています。

『身体髪膚これを父母にうく、敢えて毀損（きそん）せざるは孝のはじめなり』という言葉が『不注意からケガや病気をしないで、親から貰った自分の身体を大事にし、毎日が無事に過ごせる事がどれ程有難いことか』という意味に理解し、仕事を通して『物を格して知に到る』という格物致知を基に5SとABCの実践をしています。

不意のケガでお医者様に手当をして貰い、行動が不自由になってから自由の有難さを学ぶことの多い人生ですが、二度と同じ怪我を繰り返さない工夫を重ねていく事も我々の人生の醍醐味の一つです。豊穣の秋はもうすぐ其処に來ています。社員各位のご健勝と弥栄を心よりお祈りしています。